



初秋の乳牛飼養管理と草地管理について

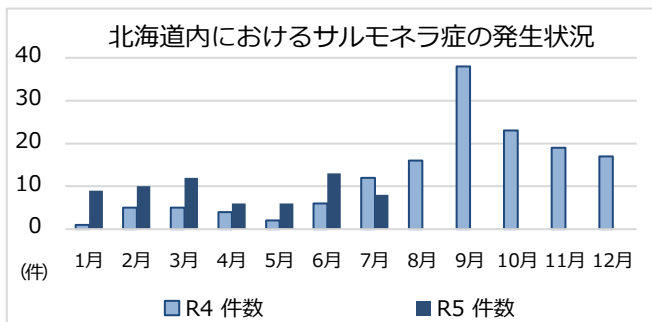
1 乳牛の飼養管理

暑熱ストレスの影響が出始める季節です。乳牛の状態や乳成分の変化を常に確認し、飼料の栄養バランスに留意しましょう。

本年収穫した粗飼料を給与する際は、粗飼料分析を行い、分析結果に合わせた飼料給与を行いましょう。

2 サルモネラ症の予防

全道的にサルモネラ症が発生し、R5年はR4年に比べ発生数が増えています。これから発生が増える時期のため、予防に向けた対策を徹底しましょう。



北海道畜産振興課HPより抜粋

- ✓ 農場や畜舎への入口に、石灰帯や踏み込み消毒槽を設置する。
- ✓ 飼槽や給水施設をこまめに清掃し、衛生的に保つ。
- ✓ こまめなエサ押し等、乳牛の摂取量を高める工夫を行い、免疫力低下を防ぐ。

菌を、農場に入れない・農場内で広げない・牛の免疫力を下げない！

3 秋の草地管理について

家畜糞尿の秋散布は、有効茎数を増やす効果が期待できます。また、草地の植生維持のため、石灰を施用しましょう。

(1) 家畜糞尿の施用

- ✓ 維持草地における施用量の目安は、堆肥は3t/10a、スラリー3~4t/10a。
- ✓ 「薄く広く」散布するよう心がけ、撒きすぎに注意する。

(2) 石灰資材の施用

- ✓ 散布量の目安は、タンカル換算で毎年30~50kg/10a。
- ✓ 最終番草収穫後に散布する。

pH6.0以上に保つ

土壌 pH と肥料の吸



収
率

■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所 TEL 0162-82-2119

普及センターHP はこちら